



プレママと 赤ちゃんの 歯と口の健康

Q & A

■A4判 42頁 カラー
■定価(本体3,000円+税)

井上美津子 藤岡万里
(元昭和大学教授) (昭和大学非常勤講師)

プレママ(妊婦さん)は何をするにも“赤ちゃんが最優先”. 歯科治療に対しても「麻酔薬は赤ちゃんに影響しない?」「レントゲン撮影しても大丈夫?」など、心配は尽きません.

本書では、実際にプレママから寄せられた疑問・質問をもとに、プレママの心に寄り添うやさしいアンサーをまとめました。プレママ本人はもちろんのこと、そのご家族や、妊婦歯科健診や保健指導にあたっている医療従事者の皆様にも、ぜひお読み頂きたい一冊です。



もくじ

Q & A

- 妊娠すると、歯がもろくなるって本当?
- 妊娠すると、歯や口の病気になるりやすくなるの?
- 赤ちゃんの骨や歯は、いつ頃できるの?
- 親にむし歯が多いと、子どももむし歯になりやすい?
- 妊娠にそなえて、歯や口について注意すべきことはある?
- むし歯や歯周病は、赤ちゃんにどう影響するの?
- つわりがひどくて体調が悪いとき、歯みがきはどうすればいい?
- 歯ぐきが、ぷっくり腫れてきた! これって歯肉炎? それとも…?
- 妊娠していても、歯科治療は安全に受けられる?
- 歯列矯正治療の継続中に妊娠がわかった場合、どうすればいい?
- 歯科治療時のレントゲン写真(エックス線写真)は、撮っても大丈夫?
- 歯科麻酔薬は、赤ちゃんに影響しない?
- 処方されたお薬は、服用しても赤ちゃんに影響しない?
- 出産後の歯と口について、どんなことに気をつけたらいい?
- 生まれてすぐの赤ちゃんの口に、白いものが?

NOTE

- 妊娠と、妊婦の歯の健康
- 妊娠に伴う母体の変化・生活習慣の変化と、口腔内への影響
- 胎児の歯の形成時期と、歯の発育に必要な栄養素
- ミュータンス菌の伝播と、子どものう蝕
- 妊娠前から気をつけたい、歯と口腔の健康管理
- 妊産婦の歯周病やう蝕が、子どもに及ぼす影響
- 妊娠期の口腔ケア
- 妊娠期に見られやすい歯肉の異常
- 妊娠期の歯科治療にあたって
- 妊娠期の歯列矯正治療と、一般的な歯科治療
- 歯科用エックス線写真撮影について
- 妊婦に対する歯科麻酔について
- 妊産婦に対する薬剤投与は慎重に
- 出産後の母子の歯と口腔の健康
- 新生児の口腔内の問題(上皮真珠と先天歯)